

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場会社名 日本開閉器工業株式会社
 コード番号 6943 URL <http://nikkai.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 JQ

(氏名) 大橋 智成
 (氏名) 市川 忠夫

TEL 044-813-8026

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,194	△38.9	△247	—	△137	—	△288	—
21年3月期第1四半期	1,955	—	25	—	108	—	68	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△35.02	—
21年3月期第1四半期	8.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	11,072	8,897	80.4	1,079.73
21年3月期	11,295	9,100	80.6	1,104.29

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 8,897百万円 21年3月期 9,100百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.00	—	0.00	4.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		2.00	—	3.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	2,402	△37.5	△231	—	△226	—	△235	—	△28.51
通期	5,100	△24.1	△490	—	△480	—	△500	—	△60.67

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 8,425,200株 21年3月期 8,425,200株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 184,447株 21年3月期 184,447株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 8,240,753株 21年3月期第1四半期 8,241,344株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成22年3月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、平成21年8月7日付「業績予想の修正に関するお知らせ」並びに「平成22年3月期配当予想に関するお知らせ」にて公表いたしました内容を記載しております。

2. 本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいておりますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項、及び上記1に係る業績予想の具体的修正内容につきましては、2、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間は、一部の経済指標に部分的な回復の兆しが見られますが、米国サブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱による先行き不透明感は依然として強く残っており、設備投資の抑制や個人消費の低迷などの厳しい経営環境が継続しております。

こうした中、当社グループは、中期経営計画「Quantum Leap Advanced」に基づき、世界販売契約を締結したグローバルディストリビューターからの販売や、IS(多機能スイッチ)やタッチパネルをはじめとする重点商品や特注品の販売に積極的に取り組み、また、製造子会社の合併による生産合理化や、固定費を中心とした経費削減に努めましたが、世界経済の厳しい環境の影響を受け、当第1四半期連結累計期間の売上高は11億9千4百万円(前年同期比38.9%減)、営業損失は2億4千7百万円(前年同期は2千5百万円の営業利益)、経常損失は1億3千7百万円(前年同期は1億8百万円の経常利益)、四半期純損失は2億8千8百万円(前年同期は6千8百万円の四半期純利益)となりました。

当社グループの売上高は、当社の属する産業用スイッチ(操作用スイッチ)市場の出荷総額の前年同期比45.4%減こそ上回っているものの、38.9%減と低迷していることに変わりはありませが、僅かながら底打ち感が出てきているのも事実であり、強化販売品目を中心に選択と集中の中、競争力強化と体質強化に尽力して行きたいと考えております。

なお、所在地別セグメントの概況は次の通りであります。

(1) 日本

特注品売上高の拡大や、次世代ISである「有機ELディスプレイ カラーIS」など新商品の投入に注力いたしましたが、産業用スイッチ(操作用スイッチ)市場を含め引き続き国内市場が低調に推移したことにより、第1四半期連結累計期間の売上高は9億6千4百万円(前年同期比42.0%減)となりました。

(2) 米国

グローバルディストリビューターとの関係を強化し拡販に努めましたが、米国経済の急減速による設備投資の鈍化等の影響を受け、第1四半期連結累計期間の売上高は3億5千1百万円(前年同期比26.8%減)となりました。

(3) 中国

中国市場における売上高は前年同期比でプラス成長しているものの、主要販売先である日本、米国などの景気低迷の影響を受け、第1四半期連結累計期間の売上高は2億3千2百万円(前年同期比40.0%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産

資産合計は110億7千2百万円(前連結会計年度末比2億2千3百万円の減少)となりました。

主な要因は、受取手形及び売掛金の減少(前連結会計年度末比9千4百万円の減少)、商品及び製品の減少(前連結会計年度末比1億4百万円の減少)によるものであります。

(2) 負債

負債合計は21億7千4百万円(前連結会計年度末比2千万円の減少)となりました。

主な要因は、支払手形及び買掛金の減少(前連結会計年度末比9千7百万円の減少)によるものであります。

(3) 純資産

純資産合計は88億9千7百万円(前連結会計年度末比2億2百万円の減少)となりました。

主な要因は、利益剰余金の減少(前連結会計年度末比2億8千8百万円の減少)、及び評価・換算差額等の増加(前連結会計年度末比8千6百万円の増加)によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年8月7日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、平成21年5月20日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想の修正を行っております。

とりわけ当社が属する産業用スイッチ市場(操作用スイッチ)の当第1四半期連結累計期間における国内出荷総額は前年同期比45.4%減と、減少幅が当初の想定を10%以上、上回っております。

当社は、引き続き種々の販売施策を講じ、販売努力は行うものの、こうした厳しい市場環境は当面継続するものと想定し、売上予想を修正するものであります。損益面におきましては、着実な原価低減と経費削減に取り組み、当初の計画通り達成しておりますが、売上高の減少は補いきれず、営業損失、経常損失、当期純損失を計上する見込みであります。

なお、平成21年5月20日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

(第2四半期連結累計期間)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	2,927	4	24	14	1	70
今回修正予想 (B)	2,402	△231	△226	△235	△28	51
増減額 (B-A)	△525	△235	△250	△249	—	—
増減率 (%)	△17.9	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2 四半期実績 (平成21 年3月期第2四半 期)	3,844	△40	5	△50	19	10

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	6,212	10	53	31	3	76
今回修正予想 (B)	5,100	△490	△480	△500	△60	67
増減額 (B-A)	△1,112	△500	△533	△531	—	—
増減率 (%)	△17.9	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	6,717	△577	△570	△1,243	△150	93

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しましては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産につきましては、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しましては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定して算出する方法によっております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,931,546	3,907,247
受取手形及び売掛金	930,109	1,024,857
商品及び製品	1,126,594	1,231,267
仕掛品	7,406	22,145
原材料及び貯蔵品	1,612,944	1,659,895
繰延税金資産	32,709	34,381
その他	141,442	155,503
貸倒引当金	△2,215	△2,367
流動資産合計	7,780,537	8,032,930
固定資産		
有形固定資産	1,906,726	1,991,274
無形固定資産		
のれん	9,431	10,907
その他	387,833	420,752
無形固定資産合計	397,264	431,660
投資その他の資産	988,049	840,038
固定資産合計	3,292,040	3,262,973
資産合計	11,072,578	11,295,903
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	742,331	839,395
1年内返済予定の長期借入金	6,900	6,900
未払法人税等	96	503
繰延税金負債	6,223	6,568
引当金	42,076	143,960
その他	858,546	361,373
流動負債合計	1,656,173	1,358,699
固定負債		
長期借入金	20,732	22,457
繰延税金負債	79,283	49,108
役員退職慰労引当金	162,069	489,872
退職給付引当金	141,171	160,153
その他	115,359	115,359
固定負債合計	518,615	836,950
負債合計	2,174,789	2,195,650

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	7,458,963	7,747,592
自己株式	△156,040	△156,040
株主資本合計	9,088,027	9,376,656
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,872	△60,398
為替換算調整勘定	△240,111	△216,043
評価・換算差額等合計	△190,238	△276,441
少数株主持分	—	38
純資産合計	8,897,788	9,100,253
負債純資産合計	11,072,578	11,295,903

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	1,955,036	1,194,995
売上原価	1,118,469	870,081
売上総利益	836,566	324,914
販売費及び一般管理費	810,804	572,771
営業利益又は営業損失(△)	25,762	△247,857
営業外収益		
為替差益	60,548	—
受取賃貸料	7,144	5,023
受取保険金	—	100,147
その他	17,438	9,219
営業外収益合計	85,131	114,391
営業外費用		
支払利息	632	461
賃貸収入原価	923	1,090
為替差損	—	2,296
その他	416	76
営業外費用合計	1,972	3,925
経常利益又は経常損失(△)	108,921	△137,391
特別利益		
貸倒引当金戻入額	52	4,177
固定資産処分益	—	1,852
特別利益合計	52	6,030
特別損失		
固定資産処分損	11,654	—
投資有価証券評価損	—	2,184
役員退職慰労金	—	110,850
特別損失合計	11,654	113,034
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	97,318	△244,395
法人税、住民税及び事業税	18,715	3,966
過年度法人税等	—	42,610
法人税等調整額	11,463	△2,305
法人税等合計	30,179	44,272
少数株主損失(△)	△1,385	△38
四半期純利益又は四半期純損失(△)	68,525	△288,629

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。